



令和5年度卒業生・修了生より

本学では、令和6年3月7日(木)に、卒業式・修了式を開催しました。卒業生や修了生が過ごした学生生活について紹介します。



保健医療学部卒業生・保健医療学研究科修了生より



- Q1. 本学の学生生活はどうでしたか？
- Q2. 国家試験対策をどのように進めましたか？
- Q3. 本学への進学を考えている方へのメッセージをお願いします！

看護学科

看護学科卒業生 吉村 由貴

- A1. 学生生活で良かったと思うことは、地域健康サポーター実習を通じて、地域住民の方との関わりを楽しみながら、興味のある分野で活動を行い、保健師という将来の夢を明確にできたことです。看護の知識だけではなく、地域に貢献できる主体性や行動力を身に付けられる新カリキュラムで学ぶことができ良かったです。実習やテスト勉強など、やるべきことは計画的に取り組むことで、アルバイトや友人と遊ぶ時間も十分に楽しむことができ、有意義な学生生活を送ることができました。
- A2. 3年生の春から、隙間時間にスマホのアプリで国試問題を解いていました。4年生の秋ぐらいまでは実習があり、冬には卒論発表があるため、なかなか勉強時間を確保することができず、本格的に国試勉強を始めたのは年が明けてからで、看護師・看護学生のためのレビューブックで出題されやすい分野や、アプリで間違えた問題の解説を確認して、似たような問題が出題された時に間違わないよう対策を進めました。また、国試1か月前から過去の国試問題や模試の見直しも行い、苦手分野を中心に勉強をしました。
- A3. 病院実習や課題など、入学前は不安なことがあると思いますが、本学には親身に相談に乗ってくださる先生や思いやりのある頼もしい同期、先輩方がたくさんいます。本学では、将来の夢に繋がる貴重な経験ができます。進学を考えている高校生の皆さんの努力が実りますことを、心より応援しています。

臨床検査学科

臨床検査学科卒業生 浅田 来春

- A1. 少人数クラスで仲が深まりやすく、先生方との距離も近いので質問や相談がしやすい環境でした。就活のための対策や国家試験対策にも親身になってサポートしていただけました。心がけていたことは、授業中は先生の授業をよく聞き、重要な点を聞き逃さないことです。定期試験にはそこからよく問題が出されるので、きちんと聞いてメモに残していました。
- A2. 4月から卒業研究と並行して受験勉強を進めました。初めは国家試験解説集を用いて、勉強していきました。就活が終わってからは、自分で要点をまとめたノートを作って、新しい知識を次々に書き足していきました。冬頃には模試が沢山あるので何回か解き直しをしたり、大学の図書館にいくつかの出版社の問題集があるのでそれを使って解いてみたりしました。アプリで隙間時間にも過去問を解くことができるので、十年分くらいの過去問を2、3周解いて対策していました。
- A3. 自然豊かな場所にあり、設備も整っているので、勉強に集中できる良い環境だと思います。また、臨地実習の時期が比較的最初のため、就活や国試対策に力を入れやすいと思います。大学4年間を思い返してみると、定期試験や臨地実習など大変なことも多かったですが、それよりも大学生活の楽しい思い出の方が多かったです。皆さんが充実した大学生生活を送れるようお祈りしています。

目次	令和5年度卒業生・修了生より p.1・2	広報・公開講座委員会より p.4
	橄欖祭(大学祭)の開催 p.2	行事予定 p.4
	本学の進路支援についての紹介・ミニオープンキャンパス . . . p.3	

〈保健医療学研究科修了生〉 Q1. 本学の学生生活はどうか？ Q2. 国家試験対策をどのように進めましたか？
Q3. 本学への進学を考えている方へのメッセージをお願いします！

看護学専攻 博士前期課程 実践者養成コース 実践者養成コース(公衆衛生看護学) 修了生 神宮 梓

- A1. 私が、学生生活の中で心がけていたことは、連絡や相談をしっかりと行うことです。実習中は、不明なことがあるとそのままにはせず指導者さんや先生に確認していました。また修士論文執筆の際は、特に先生と密にコミュニケーションを取ることを心がけていました。
- A2. 国家試験対策では、問題集の周回を基本に、苦手な科目(法律や社会保険)は動画サイトの解説動画を見て理解を深めました。また疫学や保健統計は、公式を暗記し、繰り返し解きなおすことで国試前には解けるようになりました。
- A3. 進学を検討している皆さんの中には、修士論文の執筆に不安を抱えている方もいらっしゃるかと思います。私も入学前は不安でいっぱいでしたが、先生方のサポートを受けながら完成させることが出来ました。今回、修士論文を執筆出来たことは私自身、大きな学びを得ることが出来たと実感しています。

実践者養成コース(助産学) 修了生 足立 佳音

- A1. 身に着けるべき知識は沢山ありますが、同級生と協力して教え合うなどして乗り越えていました。実習は新しい命の誕生という大きな責任が伴う場であり、無力さを痛感する日々でしたが、だからこそ技術を身に着けたいという思いを強くすることができ、また1つ1つできることを積み重ねていくんだという気持ちを持つことを心がけていました。
- A2. 参考書、過去問や模試を解いていました。加えて、同級生と集まって、国家試験出題基準の中の理解が足りない項目を分担して授業のように教え合うことをしていました。同級生と教え合ったことが記憶に残り、当日の試験において問題を解く上でも、試験への不安な気持ちに対しても力になってくれました。
- A3. 実践者養成コースでは、研究を通して疑問を追求する思考力を身に着けることができます。助産学の実習ではお産に関わらせて頂いた方と1歳まで成長を見守る実習が印象に残っており、助産師という職のすばらしさを実感することができました。また、先生方も親身にご指導くださいます。ぜひ実践者養成コースで学んでみませんか。

看護学専攻 博士前期課程 研究コース

修了生 横井麻衣子

医療の進歩・入院日数の短縮に伴い、臨床現場は非常に多忙を極めています。日々時間に追われ、自分の看護をふり返る余裕もなく、気が付けば誰かと自分が行った看護について話す時間さえなくなっていました。経験に胡坐をかき、考えもせず「これでいい」と思うようになっていました。大学で働く機会に恵まれ、これまでの看護を見つめ直し、論理的思考を学ぶために、大学院への進学を決意しました。

経験知を理論知へ。自分が感覚的に行っていた看護を理論的に意味づけていくことは、難しく大変な作業でした。それと同時に、同期とのディスカッションや先生からの鋭い指摘で新たな視点で看護について考えることができると思います。

★修士論文「多次元評価指標による若年者と高齢者の全身清拭が及ぼす影響の比較」

臨床検査学専攻 博士前期課程

修了生 中川 準也

「研究」という未知のものを解明することに漠然とした興味が学部生の頃からありました。特に、微生物に興味があり、微生物学について学びを深めたいと考え、進学を決意しました。

大学院に進学をすることで、皆さんが想像するよりはるかに様々な経験や機会を得ることができます。病院以外にも企業への就職や学会発表などの経験ができます。それだけでなく、自分で考えて研究を進め、自分の考えを相手に伝える能力などが身に付きます。これは、一朝一夕には身につくものではないと思っています。2年間という短い期間でしたが、大学院進学という選択肢は自分の人生にとってかけがえのない経験でした。皆さんの中で少しでも大学院に興味があれば、一度きりの人生、挑戦してみたいはいかがでしょうか。★修士論文「緑膿菌の宿主に対する病原性発現機構の分子生物学的解析」

第22回 橄欖祭 ～RE START～

令和5年11月11日(土)

実行委員長 看護学科2年 及川 藍子



今年は新型コロナウイルスの制限が緩和され、昨年以上に大規模な大学祭を開催することができました。準備をする中で、大学が活気づいていると嬉しさを感じた一方で、コロナ前の大学祭についての資料が少なく、大変さも感じました。

準備期間・当日ともに苦労や改善点はありましたが、本番は皆様に楽しんでいただける大学祭ができたと思います。

ご来場いただいた皆様、ご協力いただいた教職員、実行委員、外部の皆様へ感謝申し上げます。



本学の進路支援について紹介します

■ 担当教員と就職コーディネーターが連携し、適性に合わせた進路選択と実現に向けた支援を行います。

【看護学科】

1年次

学年別ガイダンス
新入生接遇研修(4月)
 大学生としての心構えと社会人としての礼節を学ぶ。
県内医療機関との交流会(9月)
 学内において県内医療機関の説明や交流を図る。
4年生と在学生の交流会(2月)
 4年生のリアルな経験から情報を得る。

2年次

学年別ガイダンス
県内医療機関との交流会(9月)
進路支援セミナー(2月)
 就職活動に活かすための自己分析
キャリア形成研修(2月)
 各職種の説明を得て自身のキャリアをイメージする。
4年生と在学生の交流会(2月)

3年次

学年別ガイダンス
県内医療機関との交流会(9月)
進路支援セミナー(12~1月)
 自己PR法や履歴書の書き方を学ぶ。
接遇研修(12~2月)
 就職面接に必要な自己PRやマナーの実践。
4年生と在学生の交流会(2月)

4年次

学年別ガイダンス
個別進路支援(随時)
 就職コーディネーターや担当教員による履歴書作成や小論文・面接対策など、一人ひとりに合わせた支援で希望の就職先の合格を目指す。また、進学に必要な書類作成や試験対策についても支援している。

【臨床検査学科】

1年次

学年別ガイダンス
新入生接遇研修(4月)
 大学生としての心構えと社会人としての礼節を学ぶ。

2年次

学年別ガイダンス



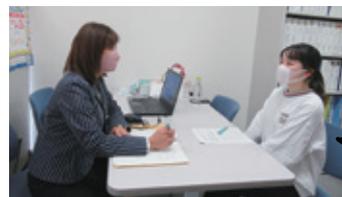
3年次

学年別ガイダンス
実習前接遇研修(9月)
 実習における服装やマナーについて、実践を交えて学ぶ。
接遇研修(1~2月)
 就職に必要な履歴書の書き方や、面接の実践。
卒業生との交流会(2月)
 様々な現場で働く卒業生から情報を得る。
集団討論(希望者)練習(2~3月)

4年次

学年別ガイダンス
個別進路支援(随時)
 担当教員による履歴書作成や小論文・面接対策など、一人ひとりに合わせた支援で希望の就職先の合格を目指す。(希望により就職コーディネーターも対応) また、進学に必要な書類作成や試験対策についても支援している。

進路・学生相談室



就職
コーディネーター
と面談中

ミニオープンキャンパス

令和5年11月11日(土)

広報・公開講座委員長 吉本 知恵



11月11日(土)に開催された橄欖祭(大学祭)にあわせて、ミニオープンキャンパスを開催しました。

今年度も昨年度に引き続き、高校生を対象として、本学教員や学生が参加者の質問に答える、個別相談という形式で行いました。

参加いただいた方からは、「先生方や在学生の方がとても優しく、楽しく過ごすことができました。」「質問に詳しく答えてくれてよかったです。」などの感想をいただきました。

本学を志望される高校生の方に、より志望度を高めてもらえるような機会になったのではないかと思います。

令和5年度 第1回公開講座

令和5年8月17日(木)

第1回公開講座を本学大講義室において開催し、48名の方にご参加いただきました。

看護学科 筒井邦彦教授「消化器の検査について知ってほしいこと」の講座では、内視鏡検査、バリウム検査、超音波検査、血液検査など消化器の検査について知ってほしいこと、検査で分かることを、病気の話を変えて紹介しました。

臨床検査学科 大栗聖由講師「これであなたも検査され上手！ー正しい検査の受け方【生理検査編】」の講座では、測定機器を用いて検査者が患者の体を直接調べる「生理検査」の正しい準備方法や受け方のコツについて紹介しました。



筒井先生



大栗先生



令和5年度 第2回公開講座

令和5年11月13日(月)

第2回公開講座を香川県社会福祉総合センターにおいて開催し、30名の方にご参加いただきました。

臨床検査学科 新美健太講師「身近な生物から学ぶ再生」の講座では、プラナリアという凄まじい再生能力を持つ水生生物から考えられる、ヒトの再生の可能性について紹介しました。

看護学科 則包和也教授「ストレスと二人三脚で歩いていく」の講座では、ストレスの基本的な知識と対処方法について紹介しました。

公開講座は令和6年度も開催を予定していますので、健康に関心のある方は、ぜひご参加ください。



新美先生



則包先生

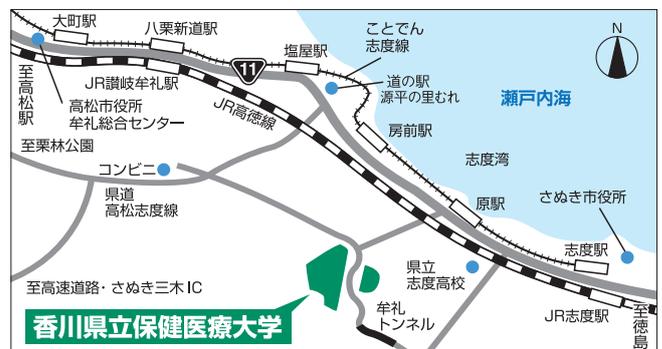


令和6年度 行事予定

- ◆ 入学式 4月4日(木)
- ◆ オープンキャンパス 7月~8月予定
- ◆ 公開講座 8月・11月予定
- ◆ 橄欖祭(大学祭) 11月2日(土)予定
- ◆ いいき健康広場 8月の公開講座と同時開催予定



〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1
 Tel:087-870-1212 Fax:087-870-1202
 E-mail:hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp
<https://www.kagawa-puhs.ac.jp/>



◆ 学校への経路

- 【西方面から】高松から車で30分
 ことடன்志度線・原駅下車徒歩10分
 高松東ICより車で10分
- 【東方面から】JR高徳線・JR志度駅から車で5分
 志度IC(または、さぬき三木IC)より車で10分

タイトルのHANDsは“高い専門的医療技術により、尊い生命を支える人間愛に溢れた温かい手”を意味しています。